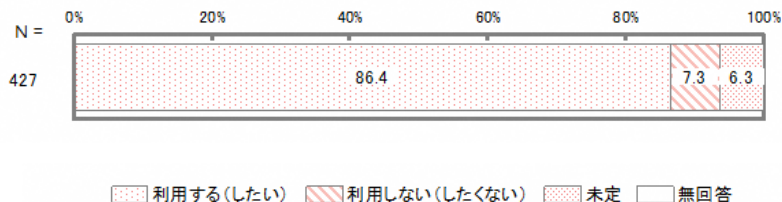
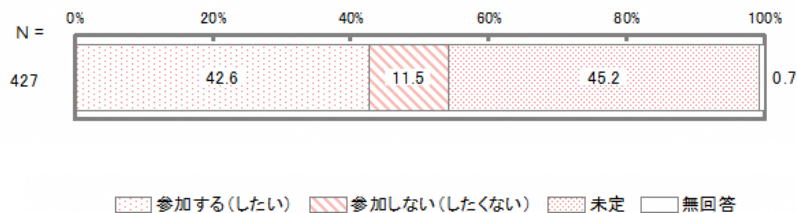


問 お子様は子どもルームを利用する予定ですか

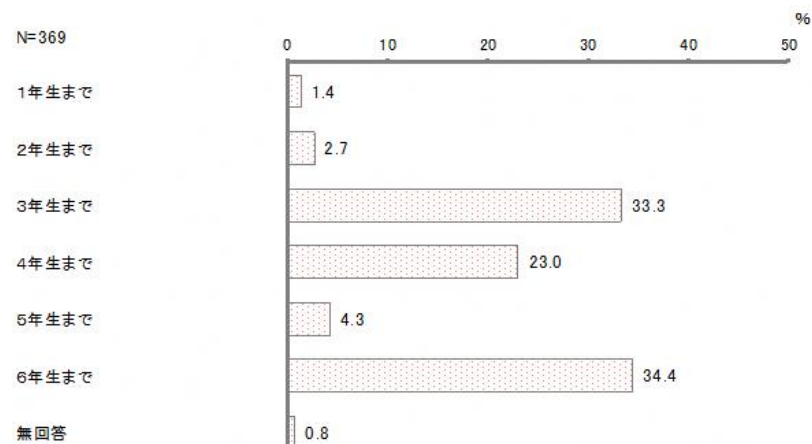


問 お子様は放課後子ども教室に参加する予定ですか



【子どもルームを利用する予定の方】

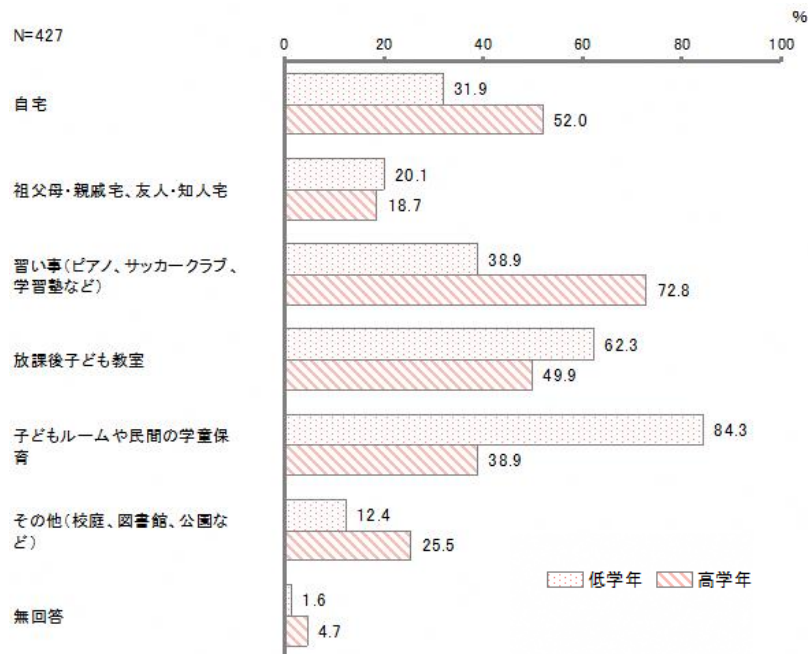
問 何年生まで利用させることを希望していますか



- 未就学児保護者のうち、子どもルーム利用希望者は8割半ばを超え、ニーズが非常に高い
- 放課後子ども教室の参加希望者は4割と子どもルームに比べて低く、「未定」が4割以上と高いことから、十分に周知が行き届いていないと考えられる

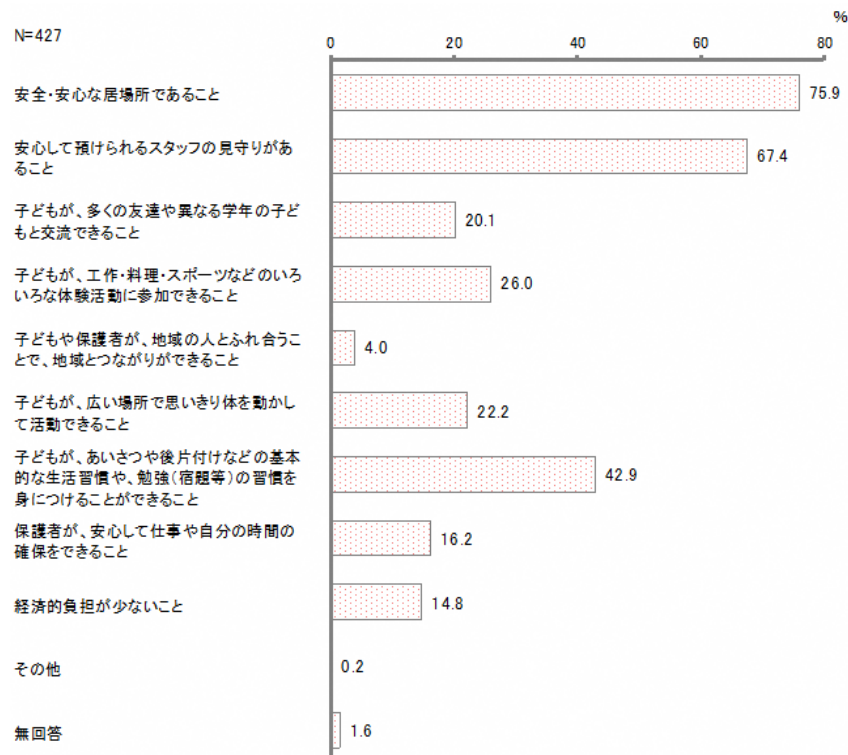
- 子どもルームの希望利用学年について、「3年生まで」「4年生まで」が大きな分岐点である一方、「6年生まで」の割合が3割半ばと最も高く、子どもが小学校にあがってからも継続的な就労のためにも、安全・安心な居場所を求めていることがうかがえる

問 お子さんが小学校に入学した後、放課後（平日の授業終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか（低学年、高学年のそれぞれ3つまでに○）



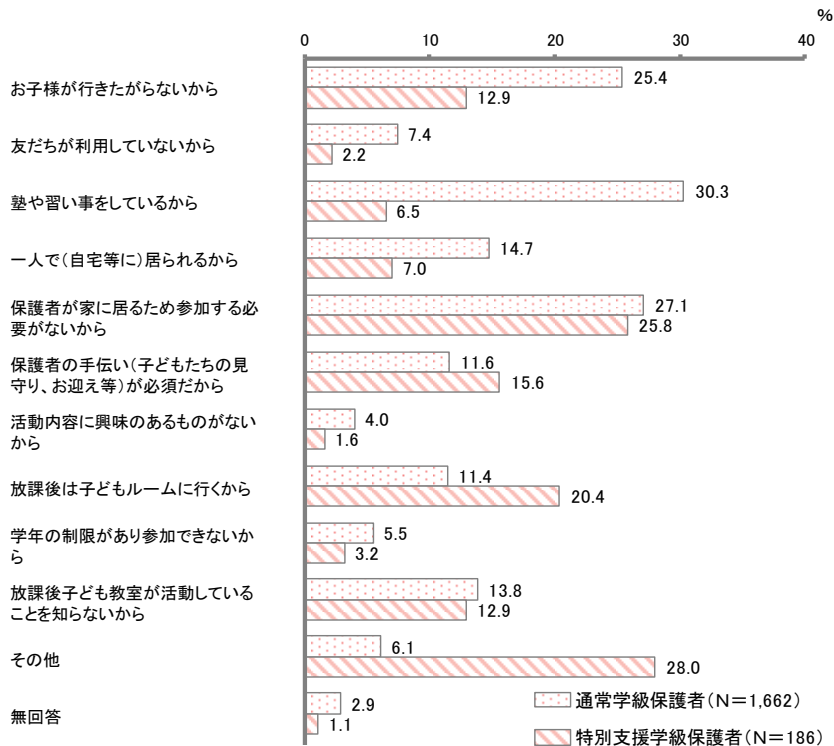
- 低学年では、「子どもルームや民間の学童保育」「放課後子ども教室」の割合が高く、大人の見守り機能のある居場所を求める声が多い
- 高学年になると、「自宅」「習い事」の割合が高く、見守り、保育よりも学習機能を求める声が増える

問 放課後子ども教室や子どもルームに期待することは何ですか（あてはまる番号3つまでに○）



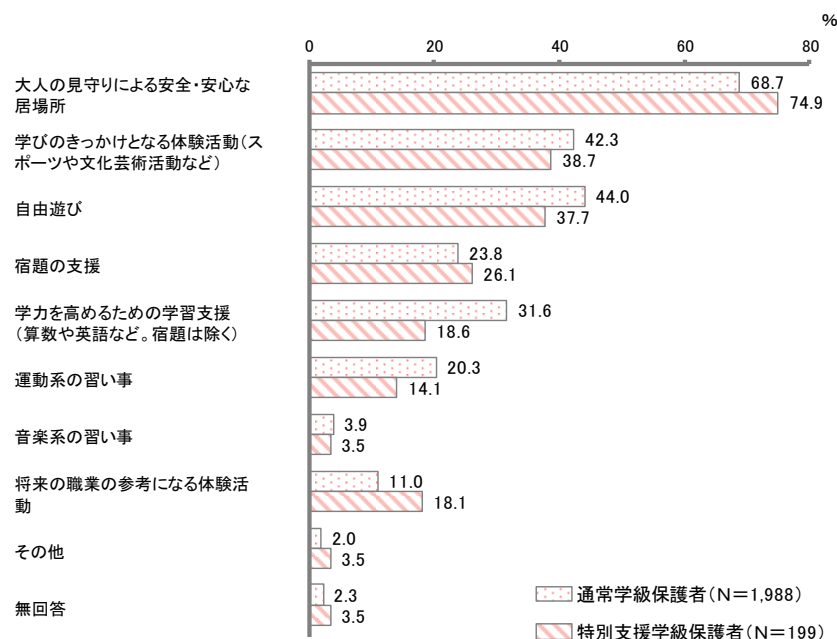
- 「安全・安心な居場所であること」の割合が7割半ば、「安心して預けられるスタッフの見守りがあること」が約7割と、いずれも子どもにとって安全な居場所を求めており、ハード面だけでなく、スタッフの質についても安心を求める声が多くみられる

問 放課後子ども教室に登録しない理由は次のうちどれですか（あてはまる番号3つまでに○）



- 通常学級保護者では、「お子様が行きたがらないから」の割合が高く、魅力ある空間づくりが課題
- 塾や習い事も理由として高くなっている
- 特別支援学級保護者では、「その他」の割合が高い（※自由記述については現在集計中）

問 お子様の放課後に必要と思うものは次のうちどれですか（あてはまる番号3つまでに○）



- いずれも「大人の見守りによる安全・安心な居場所」の割合が高い
- 通常学級保護者では「学力を高めるための学習支援」、特別支援学級保護者では「将来の職業の参考になる体験活動」が比較すると高いのが特徴

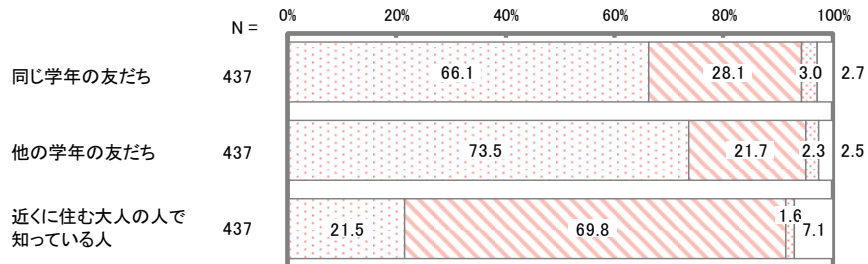
問 放課後はどのように過ごしていますか、また、過ごしたいですか（○はいくつでも）

	【現実】 過ごしている	【希望】 過ごしたい
第1位	友だちと遊ぶ(68.4%)	友だちと遊ぶ(44.0%)
第2位	家で過ごす(68.3%)	公園や広場に行く(32.9%)
第3位	塾や習い事に行く(66.4%)	ゲームをして遊ぶ(アプリを含む)(29.2%)
第4位	テレビをみたり、音楽を聞く(60.4%)	体を休める、寝る(25.1%)
第5位	勉強する(60.3%)	テレビをみたり、音楽を聞く(24.8%)

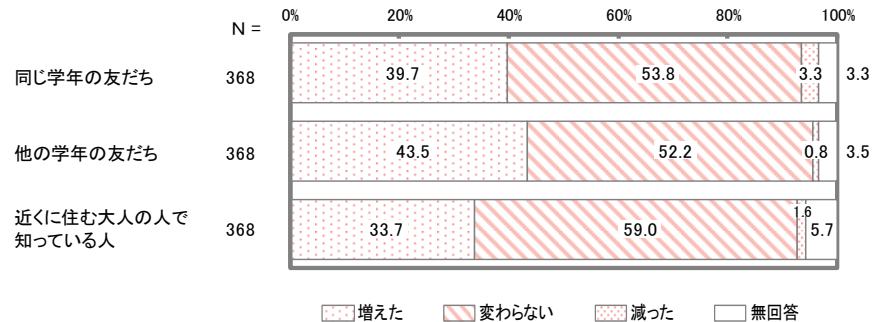
- 希望では、「友達と遊ぶ」のほか、「公園や広場に行く」「ゲームをして遊ぶ」「体を休める、寝る」が高い一方、現実では「家で過ごす」「塾や習い事に行く」「勉強する」が高く、希望と現実のギャップが大きいことがうかがえる

問 あなたは、子どもルームや放課後子ども教室に参加して、次の人は増えましたか

【子どもルーム】



【放課後子ども教室】



- 子どもルームでは、同じ学年の友だち、他の学年の友だちで「増えた」が高く、子ども同士の集団作りが行われている
- 放課後子ども教室では、近くに住む大人の人で知っている人で「増えた」が高く、多世代交流が行われている